

日浦小中学校 小中一貫をめざした取組

- 1 学校の教育目標
自ら求め考え、認め響き合って、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成
- 2 めざす児童生徒像
自ら考える子 心やさしい子 粘り強くやりぬく子
- 3 めざす教師像
信頼され、優れた指導力をもった教師
- 4 めざす学校像
豊かな自然の中で学び、つなぎ、つなげて、一人ひとりが主人公になれる学校
- 5 学校の概要

(1) 地域と学校の実態

日浦小中学校は、以前から、小規模校の特性を生かし、地域に根ざした豊かな自然体験活動や、少人数によるきめ細かな指導等、児童生徒一人ひとりが活躍できる場を保障し、個性を生かす教育の充実を図り、特色ある学校づくりに取り組んできた。

しかし近年、日浦地区も他の山村地域と同様に、農林業の不振、過疎化、高齢化が深刻な問題となっており、校区内の児童生徒数も急激に減少してきた。平成13年度には、開校以来初めて小学校の入学者がゼロとなり、その後も児童の増加を見込めない状況にまで陥った。

そこで、松山市は、地域からの強い要請も受け、平成15年度より通学区域弾力化の特別枠として両校を指定し、市内全域から児童生徒を募集、スクールバスも運行して児童生徒数を確保し、先の特色ある学校づくりをより積極的、具体的に推進することとした。

平成19年度の児童生徒数は75名。そのうち55名(73.3%)が、通学区域の弾力化による日浦地区外からの通学生である。小学校は、昭和52年度以来30年ぶりに全学年単式学級となった。

(2) 児童の実態

今年度、日浦小学校の児童数は54名で、そのうち39名(72.2%)が日浦地区以外から通学している。全体的に明るく元気で、言われたことや指示されたことには一生懸命取り組む。また、学力の個人差は大きいものの、学習や活動への関心・意欲は高く、自分の意見や思いを進んで発表できる児童が多い。

自分の気持ちや考えを適切に表現することを苦手とする児童もいるが、自然体験活動や縦割り班活動では生き生きと取り組む姿が見られ、異学年と積極的にかかわったり、全校の場で自分の意見を進んで発言したりすることができるようになってきている。

(3) 生徒の実態

日浦中学校の今年度の生徒数21名のうち16名(76.2%)は通学区域の弾力化による日浦

地区外からの通学生である。これらの生徒は、出身小学校も生育歴も個々に異なり、能力や経験に個人差は大きいですが、全体としては素直で規範意識が強い生徒が多く、落ち着いた学校生活を送れている。

ほとんどの生徒が、自分に与えられた課題や任せられた仕事を確実に丁寧にやり遂げようとする誠実さをもっており、清掃や奉仕作業、少年団活動などにも進んで一生懸命に取り組むことができる。また、総合的な学習の時間に取り組んでいる地域の自然の保護活動は、良き伝統として先輩から後輩へと受け継がれており、自分たちが伝統の継承者であるという意識はどの生徒も大変強い。

6 平成19年度研究計画

(1) 研究主題

つながり、ひろがり、高め合う児童生徒の育成
- 人とのかかわりを大切にした活動を中心として -

(2) 主題設定の理由

本校では、平成16年度から小中一貫校をめざした取組を正式にスタートし、『「みのりのある教育」の実現 - 発達段階に応じた系統的な指導によって - 』を研究主題として、総合的な学習の時間（16年度）、教科指導（17年度）、特別活動（18年度）のそれぞれの場面で「いつ・何を・どのように」教えるかということについて研究を進めてきた。9か年の系統性をふまえた「身に付けさせたい力」を明確にしたり、それをもとに年間指導計画を見直すなど、検証が十分ではないものの、ある程度の成果を得ることができた。

しかし、児童生徒の実態に立ち返ってみると、教師側に少人数を意識するあまり個を重視する傾向が強く、児童生徒も人とのかかわりの中で学ぶという意識が弱いという課題が見えてきた。日々の学校生活の中では個と集団のバランスをとりながら教育活動を行うことが重要であり、児童生徒が学校という集団の中で学ぶ意義もそこにある。そこで、本校でも、これまでの児童生徒一人ひとりを大切にす教育に加え、9年間を見通した人とのかかわりを大切にす教育を実践する必要があると考えた。

幸いなことに日浦小中学校には、豊かな自然の中で多くの保護者や地域の方々とかかわる体験活動が受け継がれている。また、小規模校の特性を生かした小中一貫校ならではの幅広い異年齢集団による活動も可能である。

これらの人とのかかわりを大切にす活動を通して、児童生徒は多様な考えに接して自分の世界を広げることができるとともに、社会性が身につく、将来においても良好な人間関係を結ぶことができるだろうと考え、本主題を設定した。

(3) 研究主題のとらえ方

「つながる」とは

「ひうらコミュニティ」の中で、多様な家庭・地域環境で育った児童生徒が互いに絆を深め、教師や保護者、地域の人と積極的にかかわって、共に活動したり、他者の意見や考え方・やり方に目を向け、自分と比べて考えたりすること。

「ひろがる」とは

様々な人とかかわる行事や活動を通して、児童生徒自身が自他の良さに気づき、多様な生き方を知るとともに、新たな見方・考え方を取り入れることによって、自分の視野や世界が広がること。

「高め合う」とは

より高い目標をもち、互いに学び合い、磨き合って、心豊かに成長していくこと。

「つながり、ひろがり、高め合う児童生徒」とは

「ひうらコミュニティ」での様々な活動を通して、同学年・異学年の仲間や、教師、保護者、地域の人たちとつながり、それによって自分の視野や世界をひろげ、より高い目標をもって互いに高め合い心豊かに成長していくことができる児童生徒

つながり、ひろがり、高め合う児童生徒の育成
- 人とのかかわりを大切にした活動を中心として -

「人とのかかわりを大切にした活動」とは

豊かな自然・へき地小規模・小中一貫の日浦の特性を生かした異学年を含む児童生徒同士のかかわりの中で、相手の存在の大切さに気づき、共に学び合うことに充実感がもてるような活動、また、仲間の良さを認め合い、共に伸びようとする気持ちを育む活動のこと。

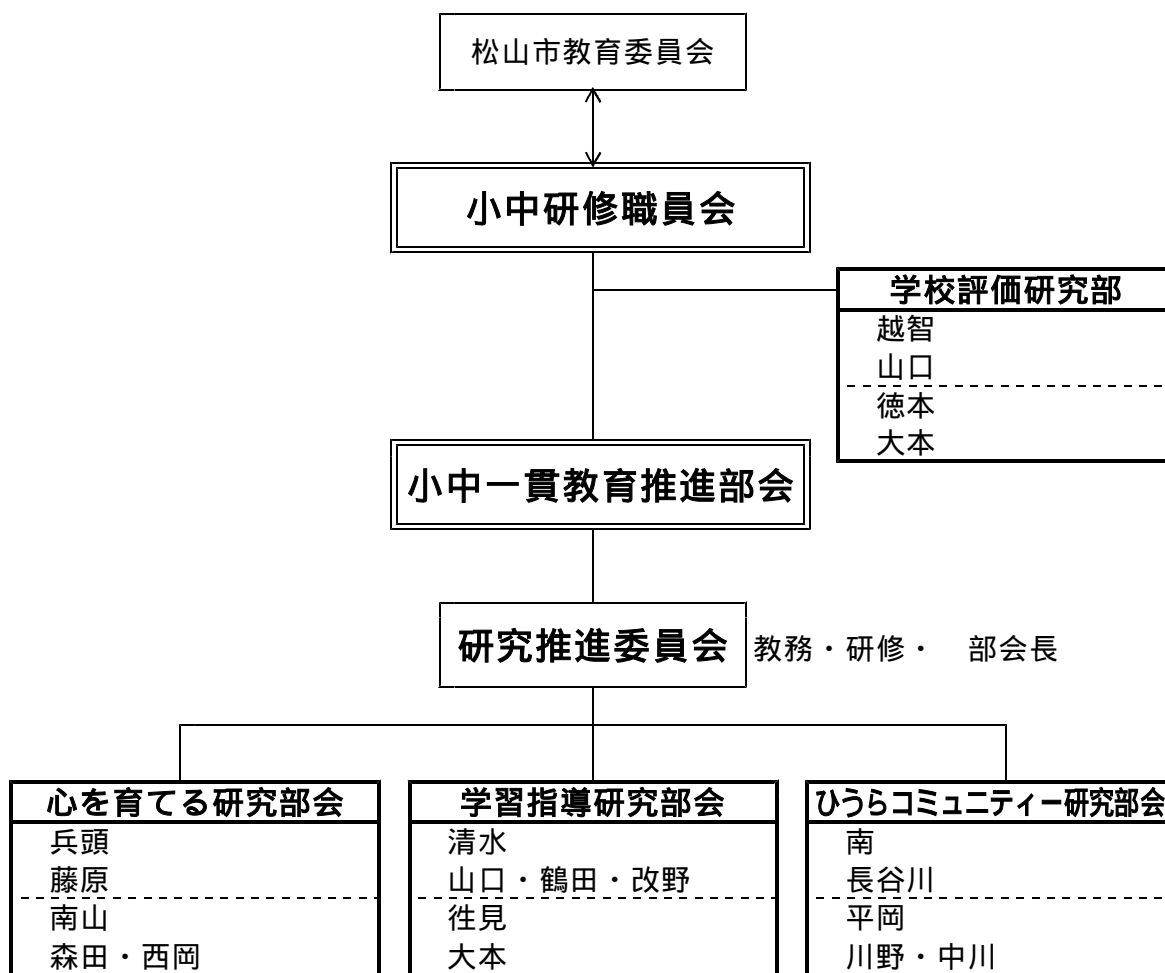
「ひうらコミュニティ」による豊かなかかわりに子どもたちが感謝の心をもち、「ふるさと日浦小中学校」に誇りをもつことができるような活動。

通学区域の弾力化によって松山市全域に広がった保護者や地域のコミュニティによる教育力を、学校教育の中に効果的に取り入れ、日浦小中学校を中心とする「ひうらコミュニティ」を形成する。

(4) 研究の仮説

豊かな自然・小規模・小中一貫の特性を生かした「ひうらコミュニティ」による豊かなかかわりを大切にした活動を通して、児童生徒は周りの人たちと積極的にかかわり、多様な生き方を知るとともに新たな生き方や考え方を取り入れることによって自分の視野や世界をひろげ、より高い目標をもって互いに学び合い、磨き合って心豊かに成長していくことができるであろう。

(5) 研究組織



(6) 研究の内容

【心を育てる研究部会】

心豊かで、主体的に他とかかわろうとする児童生徒の育成

ア 心を耕す読書活動の充実

- (ア) 全校一斉朝読書の実施
- (イ) 読書ボランティアの活用
- (ウ) 心のお話プレゼントの実施
- (エ) 日浦小中学校推薦図書の設定と活用

イ 歌でつながる喜びを創り出す音楽活動の工夫

- (ア) 「今月の歌」の実施
- (イ) 歌う喜びを味わわせる授業の工夫
- (ウ) 音楽集会の充実

ウ 児童生徒同士のつながりを深めるための話合い活動の充実

- (ア) 9か年を見通した「聞き方・発表の仕方」の指導
- (イ) 話合い活動の充実
- (ウ) 異学年合同の道徳の授業の実施

【学習指導研究部会】

習慣力を身に付け、互いに高め合う児童生徒の育成

ア 習慣力の定着と徹底

- (ア) 9年間を見通した生活習慣・学習習慣・学習の仕方の明確化
- (イ) 「学びのすすめ」の作成と活用
- (ウ) 保護者への啓発

イ 基礎・基本の習得と確かな学力を定着させる学びの工夫

- (ア) 個に応じた指導の充実
- (イ) ステップアップ学習・5分間ドリル学習
- (ウ) ひうらオリンピック
- (エ) サポート学習

ウ かかわる活動を取り入れた授業の工夫

- (ア) 異学年合同授業の現状と実践
- (イ) 異学年合同授業の開発に向けて

【ひうらコミュニティー研究部会】

広い視野をもち、豊かな社会性を身に付けた児童生徒の育成

ア 『ひうらコミュニティー』の明確化と地域力の向上

- (ア) さまざまな人材や諸団体に支えられている学校の諸活動
- (イ) これまでの課題
- (ウ) 人材バンクの作成
- (エ) 人材バンク活用例

イ 異学年交流活動における、内容と交流学年の妥当性の検討

【学校評価研究部会】

学校・家庭・地域との連携を図り、よりよい日浦教育を進めていくための学校評価の在り方

ア 学校評価委員会の設置

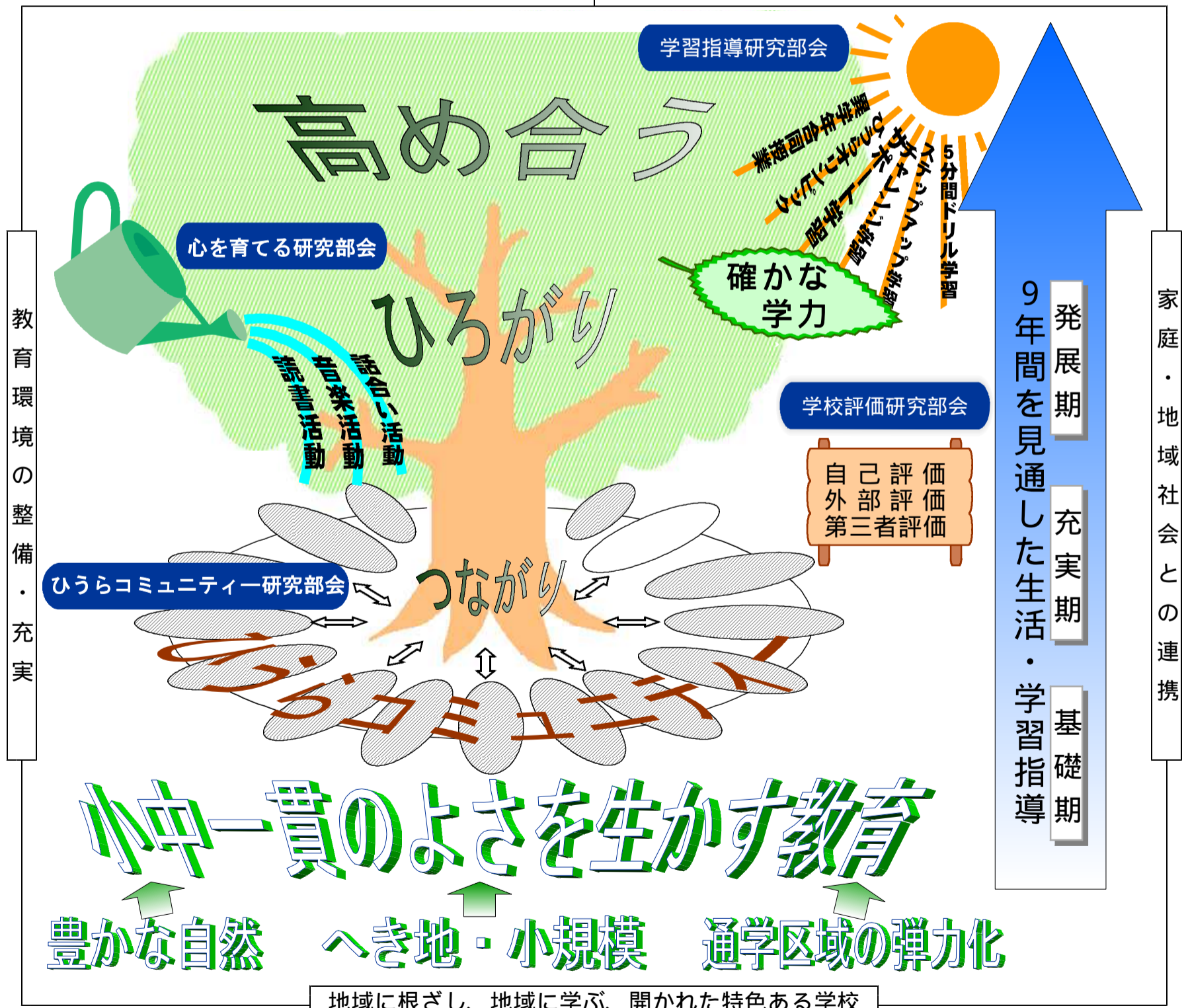
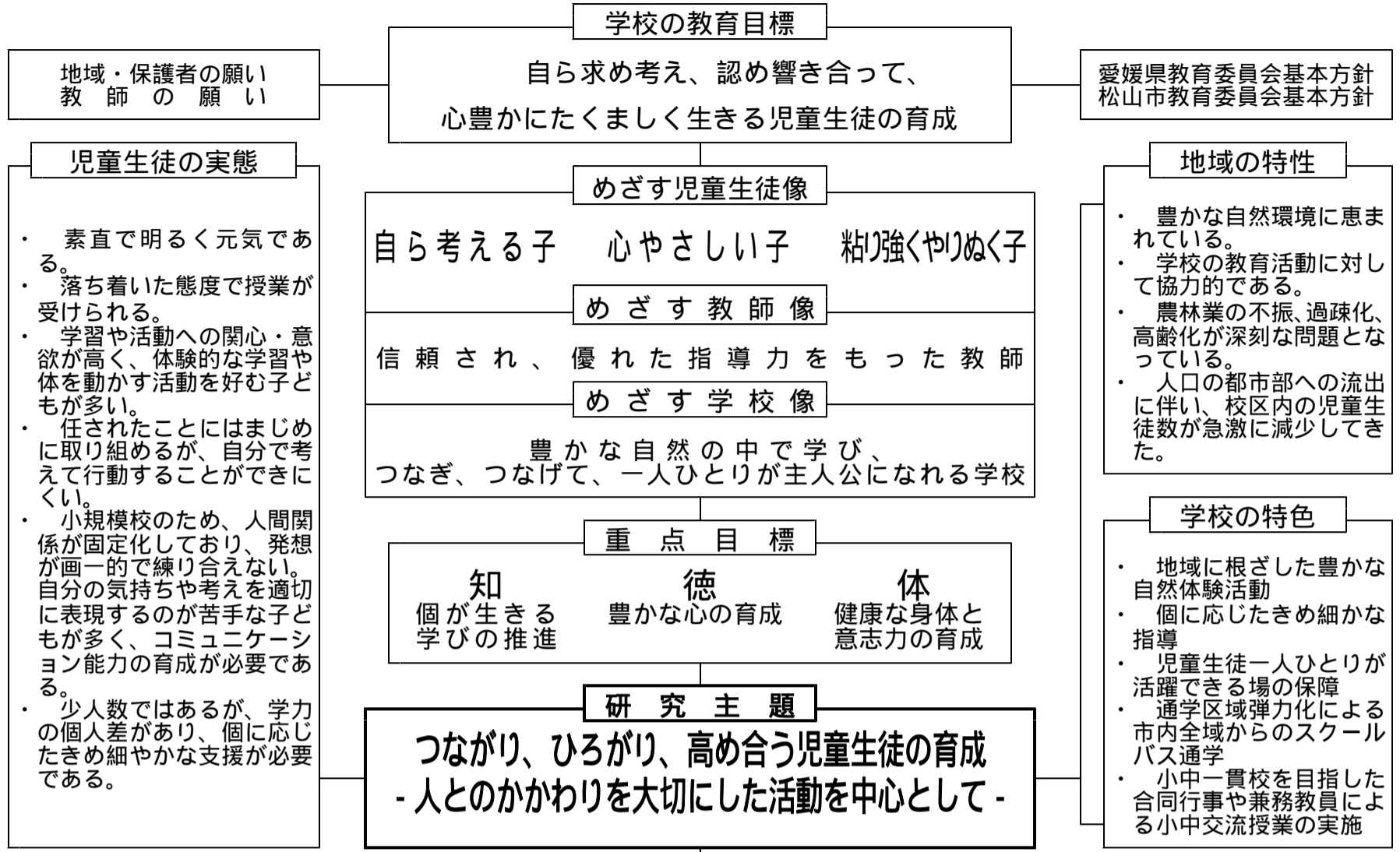
イ 自己評価

- (ア) 教職員による学校評価及び結果
- (イ) 教職員による月別評価及び結果
- (ウ) 外部アンケート等
 - a 児童生徒へのアンケート調査
 - b 保護者へのアンケート調査
 - c 学校教育懇談会
 - d 校長と語る会
 - e 学年懇談会
- (エ) 自己評価の分析

ウ 外部評価（日浦評価委員会）

エ 第三者評価

(6) 研究の全体構想



(8) 平成19年度日浦小中学校授業研究会

7月2日(月) <校内研修>

学年	教科等	単元名	授業者	指導助言者
中1~3	保健体育	水泳	平岡 宗悦(T1) 南 秀治(T2)	松山市教育委員会 指導主事 田中祐二

7月10日(火) <校内研修>

学年	教科等	単元名	授業者	指導助言者
小3	学級活動	お楽しみ会の計画を立てよう	清水 宏香	松山市教育委員会 指導主事 八木誠一

11月21日(水)

<第1回中国・四国へき地教育研究大会愛媛大会 事前研修会> 33名参加

学年	教科等	単元名	授業者	指導助言者
中1・2	道徳	誠実と責任 「折れたヒメユリ」(自作資料)	川野美智子(T1) 平岡 宗悦(T2)	松山市立東中学校 教頭 緒方 義彦
小2	算数	かけ算(1)	鶴田 貴子	松山市教育委員会 研修係長 大本光浩
小5・6	総合的な 学習の時間	わくわくショッピング (英語活動)	長谷川裕子 (T1) Ebony Stokes (T2) 山口 裕志 (T3) 南 秀治 (T4) 大本 武 (T5)	松山市教育委員会 指導係長 相原孝裕

1月25日(金) <校内研修>

学年	教科等	単元名	授業者	指導助言者
小5・6	社会	さまざまな自然とくらし	往見 政和	松山市立みどり小学校 校長 三好 龍二
中1	国語	体験を伝え合おう 心に残るあの思い	西岡 香恵	八幡浜市立松柏中学校 教頭 藤堂 浩伸

どの授業研究会にも松山市教育委員会をはじめ、各教科等指導・研究の第一人者を指導助言者として招き、研修を深めてきた。

また、今年度より「授業公開制度」を実施し、これらの研修の内容について、「日浦小中合同ホームページ」に「研究会情報」として告知するほか、学習指導案や研究協議の内容も掲載している。



<第1回中国・四国へき地教育研究大会
愛媛大会 事前研修会>

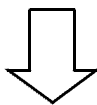
7 日浦小中学校がめざす 4・3・2 制

教育課程の編成にあたっては、児童生徒の心身の発達段階に応じて現行の 6・3 制とは異なった枠組みを設ける。つまり、義務教育の 9 年間を 4 年、3 年、2 年に分けて、それぞれを基礎期、充実期、発展期とし、柔軟な学習集団の形成をめざすとともに、小中一貫した特色ある学校づくりを行う。

教科指導においては、1～4 年生は学級担任による指導を中心にし、基礎基本の学習の徹底に重点を置いている。5・6 年生は、児童の個性や能力を伸ばす学習を重視し発展的な学習を推進するために、教科担任制を積極的に導入している。

<現行 6・3 制>

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年
小 学 校						中 学 校		



<日浦小中学校が目指す 4・3・2 制>

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年
基礎期 - 愛ある指導 -				充実期 - 分かり合える指導 -		発展期 - 夢に向かう指導 -		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 小中一貫した特色ある学校づくり </div>								
<ul style="list-style-type: none"> 人としてのマナーの醸成 基礎・基本の定着と体力づくり 				<ul style="list-style-type: none"> 友を尊重し、それぞれの個性を認め合える集団づくり コミュニケーション能力の向上 基礎・基本の充実とよさの伸長 		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個性や能力を伸ばす指導 発展的な学習の推進 		
学級担任制による 基礎・基本の習得に 重点を置いた指導				教科担任制による 専門性を生かした指導				

8 小中交流授業

兼務発令を受けた兼務教員による日浦小中学校の小中交流授業は平成15年度に始まった。当初は、小学校の複式授業の解消が主目的であったが、翌16年度は、下の図のように、さらに交流授業の枠を拡大して中学校教員による6年生の国語・算数の指導を実施した。平成16年度は、日浦小中学校が小中一貫教育を正式にスタートさせた年でもあり、より専門性が重視される音楽の授業は、1～9年生の全学年の授業を中学校音楽教員が担当するようにもなった。この取組は4年目となる今年度も継続しており、今年度から始められた小中合同の音楽集会や、松山市連合音楽会への小中合同参加のきっかけにもなった。

今年度は、小学校2名、中学校4名の教諭が兼務発令を受け、年間を通じて小中交流授業を行っている。現在、5・6年生の教科担任制はほぼ確立できており、国・社・算・音の4教科で中学校教員の専門性を生かした授業を行っている。また、より専門性が重視される保健体育も中学校免許をもつ小学校教員が1～9年生の全学年を担当している。7～8年生の家庭科も中学校免許をもつ小学校教員が担当することにより、中学校の免許外教科担任はほとんど解消することができている。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
1年		音楽	音楽
2年		音楽	音楽
3年		音楽	音楽
4年		音楽	音楽
5年		音楽	音楽
6年	算数	国語 算数 音楽	国語 算数 音楽
7年		社会 保体	社会 保体
8年		保体	保体
9年		保体	保体

	平成18年度	平成19年度
1年		音楽
2年		音楽
3年		音楽
4年	社会	社会
5年	社会	社会
6年	国語 社会 算数 図工 音楽	国語 社会 算数 音楽
7年	保体	保体 家庭
8年	保体	保体 家庭
9年	保体	保体

<小中交流授業の内訳>

小中授業交流を行うに当たっては、授業の1単位時間が小中で異なること、校地が多少離れているため移動時間が必要なことを考慮して、下図のように各授業の開始または終了が小中で同じ時刻にそろえるように調整し、小中の兼務教員の行き来がしやすいように工夫している。

時刻	小学校	中学校	時刻
8:30	読書	読書	8:30
8:40	朝の会	朝の会	8:40
8:50	1校時	1校時	8:45
9:35			9:35
9:45	2校時	2校時	9:45
10:30			
10:50	業間 (集会・保健・表彰・マラソン等)		10:35
			10:45
	3校時	3校時	
11:35			11:35
11:45			11:45
	4校時	4校時	
12:30			12:35
	給食	給食	
13:10			13:10
13:30	昼休み	昼休み	13:30
	5校時	5校時	
14:15			14:20
14:20	5分間ドリル学習		14:20
14:30			14:30
	6校時	6校時	
15:00			15:20
15:20	移動	移動	15:25
15:35	清掃	清掃	15:35
15:40	移動	移動	15:40
15:55	終わりの会	終わりの会	15:55
		5分間ドリル学習	16:00

<平成19年度日浦小中学校日課表>

9 「ひうらプロジェクト」による保護者・地域への啓発

日浦小中学校では、小中一貫教育をめざす取組の研究を始めた平成16年度から約2年間にわたり、保護者向け啓発資料「I K K A N」を発行してきた。研究の当初は「小中一貫」という概念への理解が保護者にもほとんどなかったため、それをわかりやすく解説することに「I K K A N」の紙面の多くは費やされていた。

小中一貫教育をめざす取組を始めて今年度で4年目を迎えるに当たり、研究の主眼も、9か年を見通した児童生徒の社会性や習慣力の育成、基礎・基本の徹底と確かな学力の定着等、児童生徒のよりよい育ちに視点を当てたものへと転換を図った。これを機に、保護者向け啓発資料も、実践の紹介を主体にしながら、小中一貫教育のあるべき姿を探る日浦小中学校の

取組を保護者や地域に発信し、広く意見を求めることができるものへと内容を刷新した。また、保護者が気負うことなく手に取れるようにと、毎月発行している「日浦小中だより」の常設コーナー「ひうらプロジェクト」として、今年度6月号より掲載を始めている。

このコーナーは「日浦小中合同ホームページ」にも掲載しており、外部からの反響も大きい。

10 幼稚園、保育園・保育所訪問

夏季休業中に、来年度の日浦小学校入学児童の募集のため、幼稚園・保育園訪問を行った。日浦小中学校の教育方針や日浦のすばらしさを幼稚園・保育園関係者に直接伝える機会をもちたいと考え、今年度はPTAと協力して実施した。

8月8日(水)～10日(金)、日浦小中学校の教職員が保護者の方と二人一組で、松山市内の幼稚園、保育園・保育所、約90園を訪問した。日浦小中学校の紹介や学校行事、PTA活動を紹介したリーフレットを配布するの併せて、自然体験活動や学校行事の魅力、個に応じた指導のよさ、通学についてなど、保護者の体験も交えながら話すことができ、大変効果的であった。気持ちよく対応していただいた園がたくさんあり、訪問後の手応えも感じられ、有意義な訪問になった。リーフレットの配布数や幼稚園・保育園の保護者への説明会のもち方など、今後に生かせる情報を得ることもできた。

つなぎつなげて 平成19年度版

日浦小学校 日浦中学校

一人ひとりが主人公

日浦小・中学校では、豊かな自然の中で、自分の思いや願いを実現したい子どもたちを募集しています。

- 豊かな自然体験活動を希望する子
- 小中一貫をめざす教育を希望する子
- 基礎・基本の確実な定着を希望する子

小中一貫をめざす教育

- 総合的な学習の時間の系統学習
- 小中学校教職員の連携
- 小中学校連携の交流学習

基礎・基本の確実な定着

- 一人ひとりの学力を伸ばす少人数学級による指導
- 個性に応じたきめ細やかな指導
- 学習アシスタントによる個に応じた学習指導

豊かな人間性の育成

- 豊かな自然体験活動と社会性の育成
- 豊かな学びを支える、地域を中心とした「ひうらコミュニティ」の人材活用
- 歌声が響き合う学校づくり

特色ある活動

学校行事

- 農業体験(米作り)
- 校内キャンプ
- 保・小・中・地域会同運動会
- ふるさとフェスティバル(小)
- スキー体験(中)

総合的な学習の時間

- 石平川水系水資源学習プログラムを軸とした地域環境学習
- 森を守る(炭焼き体験)
- 生物の多様性(ホタル保護)
- 人と自然とのかわり(ひめゆりの栽培)

夏の少年隊・少年団活動

- 薪炭伐採活動、クリーン日浦・山林学習

スクールバス運行経路

ひめゆり1号 三 五明 三 今治 三 今治 三 今治

ひめゆり2号 三 今治 三 今治 三 今治

日浦小学校 日浦中学校

松山市教育委員会学校教育部 電話 48-6871

日浦小学校 電話 977-2198 FAX977-9915 [http://www.matsuyama-edu.ed.jp/s.hiura]

日浦中学校 電話 977-5022 FAX977-9990 [http://www.matsuyama-edu.ed.jp/l.hiura]

<幼稚園・保育園訪問リーフレット>

11 学校説明会

11月4日(日)、日浦小中学校説明会を開催した。

まず最初に、日浦小学校・中学校を会場に全学年で公開授業を実施した。PTA参観日も兼ねており、在学児童生徒の保護者に交じって熱心に参観する親子連れの姿が多く見られた。

公開授業終了後、学校説明会を小学校体育館にて行った。松山市教育委員会から来年度新入学児童の募集について説明があった後、学校の取組とPTA活動についての説明を行った。その後、学習センターにて、PTAと参加者のみで懇談会を行った。

参加者の事後アンケートでは、「学校説明会に参加して良かったですか」という問いに対して、全員が「非常に良かった」「良かった」と答えた。また、「PTA活動の説明および懇談会は参考になりましたか」という問いにも、全員が「非常に参考になった」「参考になった」と答えている。感想にも「豊かな人間性の育成」や「確かな学力の向上」など、本校がめざす教育に対する賛同や共感が多く書かれており、高い評価が得られたと考える。

オープン日浦
おいでよ!
ホテルと清流の里! 日浦へ

日浦小中学校説明会のご案内

平成 20 年度日浦小入学予定児童及びその保護者、また、平成 20 年度に日浦地区外から入学を希望される児童及びその保護者を対象とした標記説明会を下記の日程で実施いたします。

日浦小中学校の教育に関心があり、お子さんの来年度日浦小学校への入学をお考えの方、是非日浦小中学校の特色ある教育を目で見、肌で感じてみませんか。新小学 1 年生を 10 名程度募集します。

 ひめゆり 1 号	日時 平成 19 年 11 月 4 日 (日) 9:30~12:00 場所 松山市立日浦小学校・中学校	 ひめゆり 2 号
---	--	--

日 程

9:00~ 9:30 受付 (小学校体育館)

9:30~10:15 公開授業 (小・中) ※中学校の授業は 10:20 まで

10:35~12:00 学校説明会 (小学校体育館)

【お問い合わせ】
小学生(平成 20 年度入学新 1 年生)
〒791-0132 松山市河中町 79-2 日浦小学校内 学校説明会事務局
TEL 089-977-2798 FAX 089-977-9985

中学生(募集なし)
〒791-0132 松山市河中町 188-1 日浦中学校内 学校説明会事務局
TEL 089-977-5822 FAX 089-977-9990

<日浦小中学校説明会 案内文書>

分かりやすい、良い説明会だったと思います。殊に、校長先生の熱意と前進の志が強く伝わってきました。

公開授業では一人ひとりに目が行き届いて少人数教育の良さが感じられました。

校内はバリアフリー設計で洋式トイレも完備しており、良い印象を受けました。少人数ならではのきめ細かな指導ができていていいと思いました。

地域の特色を生かした学校づくりをしていること、先生方が学校を大切に思っていることがよく分かった。

初めて日浦小のことを知りました。内容については全く問題はありません。とても素晴らしい教育内容で、是非入学させたいと思いました。……やっぱり自分が考える教育にピッタリだと思いました。

小中一貫教育を通じた人間性豊かな手作り教育を行っておられると感じました。人間としての優しさ、人を思いやる心をもった子どもに育つと思います。このような環境の中で勉強ができ、学力の向上ができたなら本当にいいなあと思いました。

少人数で子どもたちも伸び伸び勉強しているところがとても良かったと思います。ホームページでの校長先生のお話、いつも楽しみにしております。

<日浦小中学校説明会 参加者アンケート 感想>

12 日浦小中グループウェア（ミライムの活用）

今年度6月初旬、日浦小学校と日浦中学校との間が、「日浦小中グループウェア」というネットワークでつながれた。松山市は、近い将来、市内各校を「学校間ネットワーク」でつないでいこうという構想をもっており、「日浦小中グループウェア」は、日浦小中学校の小中一貫校をめざす取組を支援しようと、他校に先駆けて導入されたものである。

本校の校長は小中を兼任しているため、毎朝、職員朝礼前の小中の打合せは「テレビ会議システム」で、webカメラとマイクを使って行っている。また、「電子掲示板」で全教職員に知らせることを配信したり、小中合同で行う行事や研究に関する情報を、担当者同士が「メッセージ（メール）」でやりとりしたり「共有フォルダ」で情報の共有化を図ったりと、最先端の技術が小中一貫校をめざす取組を後押ししてくれている。

また、これまで、小中交流授業の担当者は、授業に行くまで欠席者の把握がしにくかったが、「グループウェア」導入後は、朝、養護教諭が欠席者を「電子掲示板」に書き込み、交流授業に行く前に欠席状況が把握できるようにしている。また、授業前後の情報交換も、直接話せないときはメモや伝言のほか、「メッセージ」で伝えるなど、積極的に利用している。

もちろん顔を見ながら、膝をつき合わせての打合せや話合いも今までどおり大切にしたいと考えてはいるが、より確実に迅速な情報の共有化、事務の省力化、効率化を図るため、「日浦小中グループウェア」は、今やなくてはならないシステムとなっている。

2学期末には情報教育校内研修会を開き、グループウェアの研修を行った。ミライムの有効活用の方法や今後の課題について話し合い、ミライムをさらに活用できる環境づくりを行うことができた。

13 ホームページ

今年度1学期から夏季休業中にかけて、これまで、小中がそれぞれに作成していたホームページを整理し直し、内容を刷新した。小中合同の行事や小中一貫教育の取組等については「小中合同ホームページ」を作り、本校の取組を積極的に公開し、広く意見を求めることと

した。校内研究授業の学習指導案や研究協議内容も個人情報に触れる部分を削除して公開している。

14 「心の軌跡」プロジェクト

小中一貫ならではの取組の一つとして今年度始めたのが、「心の軌跡」プロジェクトである。これは、児童生徒が小中一貫をめざす「ふるさと日浦小中学校」で学んだ9年間の心の成長の足跡を、9か年分まとめて文集にし、中学校を卒業する生徒たちの卒業記念品としようとするものである。

これまでも、行事や体験学習など、児童生徒が心を動かし、成長するきっかけとなるような機会をとらえて、思いや考え、感想（絵も含む）等を書きためていた。教師はそれらに感想や励ましの言葉を添え、教室に掲示するなどして、互いの成長を確かめ合ったり称揚したりした後、学期末や学年末に家庭に持ち帰らせていた。このプロジェクトでは、これに「心の軌跡」という統一したタイトルを付けて、学年末にファイルにとじ、保護者に一旦返却して一読していただいた後、学級担任がまとめて次年度の学級担任に引き継ぐ。6年生から7年生へも同様に引き継ぎ、中学校卒業時に製本し、卒業記念品として生徒に渡そうと考えている。

現在の1年生が中学校を卒業する平成27年度、最初の「心の軌跡」プロジェクトは完成する。おそらく現在のスタッフはだれもそれを直接見届けることはできないだろう。しかし、小中一貫校をめざす日浦小中学校にしかできないこの取組は、きっと子どもたちの一生の心の宝物となるはずだと確信している。私たちのこの熱い思いを、ぜひ、将来の日浦教育を担う先生方につなぎつなげていきたいと考える。

心の軌跡											
二年											
題名 駅伝大会をやった											
駅伝大会をしました。											
パスをしてもらった時は、											
最後だったので、せたいぬく											
ぞぞと思っで走りました。											
けれど、ぬけなかつたまま、パス											
をしたのがく											
やしかったです。											
でも、チームの人											
ががんばってくれ											
て、1位になれ											
たので、とても											
うれしかったです。											

